

世田谷区 ヤングケアラー コーディネーター (子ども・若者スマイルサポーター)



星野 桃代 ほしの ももよ

外国ルーツの母や認知症の祖母等のケアをしてきた元ヤングケアラー。
慶応義塾大学法学部卒業後、新聞記者や医療従事者専用サイトの医療記者、外資IT企業のマーケティング担当を経て協会に参加。
ジェンダーやフェミニズム、クリア・スタディーズも関心領域。

社会福祉士養成
課程 修了



氏原 拳汰 うじはら けんた

大学時代に認知症の祖父をケアした元ヤングケアラー（若者ケアラー）。
筑波大学大学院在学中に協会に参画し、一社)ケアラーワークスにも所属。
ヤングケアラーの認知啓発及び講演活動や若者ケアラー対象のピアサポート活動の運営等を行ってきた。

臨床心理系
大学院修了

ヤングケアラーコーディネーターの役割って？

- ① 区内の関係機関への助言
- ② ヤングケアラー本人への伴走型支援
- ③ 区内の各機関や専門職に向けた、ヤングケアラー支援研修・講演
- ④ ヤングケアラーとその家族を支える区内外の支援ネットワーク形成

こんな時はお気軽にご連絡ください！

ヤングケアラー
かもと気になる
子ども・若者がいる

関係機関に
橋渡ししてほしい

具体的な支援に
ついて一緒に
考えたい

個人情報をもった状態の相談でもOKです。
状況に応じて適切な個人情報共有方法を検討します。

LINE相談も 受付中

おおむね30代までのケアラーと
ご家族、支援者が利用できます。

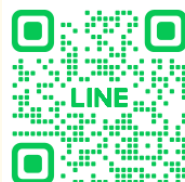


050-1706-5807 受付：月曜～金曜
9時30分～18時30分



setagaya.ycc@youngcarerjapan.com

世田谷区
ヤングケアラー
さぽーとるーむ



ヤングケアラーってどんな子ども・若者？

ヤングケアラーは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」と子ども・若者育成支援推進法で定義され、

国や自治体などが支援に努めるべき対象とされています。

ケアの責任や負担の重さにより、学業や友人関係、進路選択などに影響が出てしまうことも。また、不登校や非行の子どもたちとヤングケアラーの重なりも近年明らかになりつつあります。

ヤングケアラーが日常的にしていること



精神的なケアをしている
(話し相手になる、愚痴を聞くなど)



身体的なケアをしている
(看病、見守り、トイレの介助など)



社会的なケアをしている
(大人の仲介や制度上の手続きなど)



医療的なケアをしている
(服薬管理や通院管理など)



自分だけの時間を
持つこと



勉強時間の確保や
受験・進学をすること



部活などの課外活動に
参加すること



友達と放課後に
遊ぶこと



心と体を休めること



通訳・手話など
コミュニケーションの
補助をしている



幼いきょうだいの
世話をしている



家計を支えるために
労働をして助けている



買い物・料理・洗濯
などの家事をしている



大人に理解され
氣にかけてもらうこと



未来に夢や希望を
抱くこと描くこと



自由に就職先を
選ぶこと



収入を自分のために
使うこと



自分中心の
人生を歩むこと

年齢が上がるにつれて起こりやすいこと

ヤングケアラーが諦めてしまっていること

ヤングケアラーの孤立や困りごとの背景にある要因

子どもや若者がケアを担う背景に、さまざまな要因が複雑に絡み合っている場合もあります。

労働の問題

保護者の失業、不安定な雇用形態、長期間労働

病気や障害

家族の病気や障害、メンタルヘルスの不調（精神障害や自殺、ストレスや依存症など）

養育環境の問題

虐待・ネグレクト、DV、家族の服役

不安定な家族関係

親との別離、家族内の偏ったパワーバランス、頼れる親族の不在

家族主義的な価値観

家族の問題は家族で解決するという考え方

ヤングケアラー支援のあり方

ヤングケアラー支援のゴールは、「ケアそのものを担わなくなる」とは限りません。ケアが続いていたとしても、安心して自分の気持ちを発信できる場所があり、孤立せず、同年代の子ども・若者と同様に自分自身の人生に価値を感じ、主体的で自律的な生き方を選択できることが重要です。

これらを実現するため、「具体的な課題解決を目指すアプローチ」と、ヤングケアラーのライフステージに応じた支援を行うために必要な「つながり続けることを目指すアプローチ」を組み合わせながら、支援をコーディネートしていきます。

